

保護者各位

宜野湾市立普天間中学校
校長 佐伯 進
(公印省略)

令和3年度 通知表(評価の観点項目)の変更点について

盛夏の候、保護者の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。

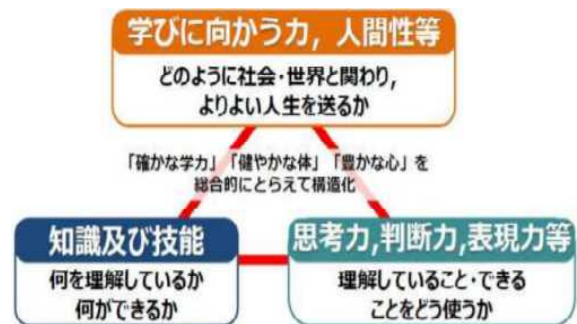
さて、今年度より中学校では学習指導要領が改訂され、新学習指導要領の趣旨を踏まえた教育活動を展開しています。それに伴い、通知表の内容にも変更点が生じております。

そこで、通知表の具体的な変更点について、下記の通りお知らせいたします。

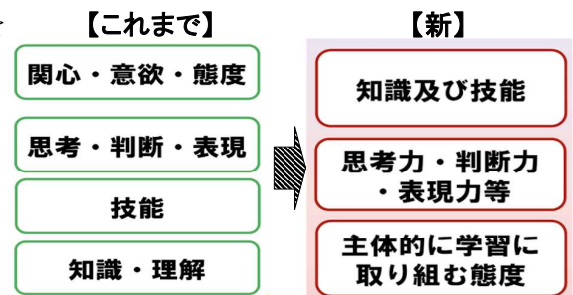
記

新しい指導要領では、「何ができるようになるか」、「どのように学ぶか」ということが重視されています。このために、子どもたちに身に付けてほしい資質・能力として、次の3点が設定されています。1つ目は何ができるようになったかという「**知識・技能**」の習得。2つ目は、身に付けた知識や技能を日々の生活や他教科の学習に関連付けて生かすための「**思考力・判断力・表現力**」の育成。3つ目は、どのように社会や世界と関わり、よりよい人生を送るかという「**学びに向かう力・人間性等**」の涵養です(図1)。変化の激しい日々進歩する社会の中で、これまでのように教えられたことだけを学ぶのではなく、自分から課題を見つけ、主体的に学ぶようになる必要があるということです。この3つの柱に対応する形で、子どもたちの評価も「**知識・技能**」、「**思考力・判断力・表現力**」、「**主体的に学習に取り組む態度**」の3つの観点に整理されました(図2)。

このように、すべての教科がこの3つの観点で評価され、通知表にも反映されています。



(図1) 育成すべき資質能力の3つの柱



(図2) 評価の観点の整理

(1)「知識・技能」の評価

基本的な知識を身に付けるのはもちろんの事、すでに身に付けた知識を組み合わせる力やさまざまなシーンで知識を活かせる技能が評価されます。

例えば、

- ・ペーパーテスト(定期テスト・小テスト)
- ・生徒が自分で文章で説明したり、観察・実験し、実際に知識や技能を用いたりする場面 など

(2)「思考力・判断力・表現力」の評価

自ら考える力、問題に応じて必要・不必要を判断する力、自分の考えを相手に伝えたり、相手の意見を聞いた上で自分の考えも伝えたりする表現力が評価されます。

例えば、

- ・論述やレポートの作成、発表、グループ内での話し合い
- ・作品の制作や表現等の多様な活動
- ・ペーパーテスト(定期テスト・小テスト)
- ・ポートフォリオ など

(※ポートフォリオとは、学習過程を記録し、そこでの成果を収集したもの)

(3)「主体的に学習に取り組む態度」の評価

より良く学ぶようとする意欲をもって学習に取り組もうとする態度が評価されます。

例えば、

- ・ノートやワークシート等における記述
- ・授業中の積極的な発言、つぶやき
- ・生徒による自己評価や相互評価の状況 など